



## 平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月12日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社ト一セ

コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 渡辺 康人

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日

平成24年5月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	2,772	14.7	273	333.0	308	323.1	151	267.9
23年8月期第2四半期	2,416	48.1	63	—	72	—	41	—

(注)包括利益 24年8月期第2四半期 151百万円 (280.7%) 23年8月期第2四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	20.53	—
23年8月期第2四半期	5.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年8月期第2四半期	6,867	—	5,106	—	74.3
23年8月期	6,807	—	5,045	—	74.1

(参考)自己資本 24年8月期第2四半期 5,101百万円 23年8月期 5,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
24年8月期	—	12.50	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,746	0.1	339	△10.3	360	0.5	196	4.1	26.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年8月期2Q	7,763,040 株	23年8月期	7,763,040 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年8月期2Q	359,825 株	23年8月期	359,805 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	7,403,226 株	23年8月期2Q	7,443,338 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の落ち込みから回復に向かっているものの、欧州債務危機による海外経済の下振れ懸念、円高の長期化や株価の変動等、依然として先行き不透明な状況となりました。

家庭用ゲーム業界におきましては、新型ゲーム機「ニンテンドー3DS」と「プレイステーション・ヴィータ」が出揃ったことで、現行機からの買い替え需要が高まりました。特にニンテンドー3DSに関しては、年末商戦において大型タイトルが発売されたこともあり、国内累計販売台数が国内市場のゲームプラットフォームとしては最速の発売日から52週目で500万台を突破しました。今後もゲームソフト会社から新型ゲーム機を牽引することができるタイトルが数多く発売されることにより、市場の活性化が期待されます。

モバイル業界におきましては、平成22年のモバイルコンテンツ市場の市場規模が前年比17%増の6,465億円、iPhone及びAndroid OS搭載端末に代表されるスマートフォン上でのモバイルコンテンツ市場が前年比251%増の123億円となっており（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ）、引き続き拡大傾向にある中、スマートフォンの利用者が急増しております。本年におけるスマートフォンの出荷台数予測は2,790万台、携帯電話端末の総出荷台数の68.7%をスマートフォンが占めると予想されております（株式会社MM総研調べ）。一方で、成長著しいソーシャルゲーム市場においては、ゲームソフト会社が相次いで参入し、有力コンテンツが続々と提供されております。国内におけるスマートフォンの普及が今後も進むと予想されることから、ソーシャルゲーム市場の一層の拡大が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは多様化・高度化する顧客ニーズに対応すべく、積極的な企画提案や受注活動に努めてまいりました。また、さらなる作業効率の向上及び徹底した原価の低減を図ることにより、市場競争力を強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、開発完了の時期が第3四半期以降となったタイトルや未受注案件が複数発生したものの、ゲームソフト開発事業において大型タイトルを中心に既受注案件を着実に開発完了することができたことから、売上高は27億72百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益2億73百万円（前年同四半期比333.0%増）、経常利益3億8百万円（前年同四半期比323.1%増）、四半期純利益1億51百万円（前年同四半期比267.9%増）となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け11タイトル、パソコン向け1タイトル、アミューズメント向け1タイトル、携帯端末向け30タイトル、その他1タイトルの合計44タイトルとなりました。

セグメントの業績は次の通りであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## ①ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、開発完了の時期が第3四半期以降となったタイトルや未受注案件が複数発生したことに加え、子会社において事業の進捗に遅れが発生したものの、大型タイトルを中心に既受注案件を着実に開発完了することができたことから、開発売上は20億17百万円となりました。

運営売上につきましては、i P h o n e 向けやP C向けコンテンツの運営業務が発生したことから、5百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、海外向けタイトルやパチンコ・パチスロ関連のタイトルが順調に推移した結果、77百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は21億円(前年同四半期比19.2%増)、営業利益2億27百万円(前年同四半期比約52倍)となりました。

## ②モバイル開発事業

モバイル開発事業におきましては、開発完了の時期が第3四半期以降となったタイトルや未受注案件が複数発生したことから、開発売上は2億80百万円となりました。

運営売上につきましては、運営終了タイトルが発生したものの、既存の運営サイトを想定した以上に維持できた結果、運営売上は1億53百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、従来の携帯電話向けコンテンツ市場が縮小傾向にあるため、これまで売上に貢献してきた大型コンテンツのロイヤリティ売上に減少傾向が見られたこと、開発完了の時期が第3四半期以降となったことに伴い、ロイヤリティ売上の計上開始時期が変更となったタイトルが発生したことから、ロイヤリティ売上は1億13百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は5億47百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益65百万円(前年同四半期比107.5%増)となりました。

## ③その他事業

その他事業におきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにて、「ニンテンドーゾーン※」などの事業を中心に行っております。開発売上につきましては、未受注案件が複数発生した上に、ニンテンドーゾーン事業において想定よりも新規顧客向けの案件を獲得できなかった結果、78百万円となりました。

運営売上につきましても、上記のとおり新規顧客向けの案件を獲得できなかった結果、8百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、主に家庭用カラオケ楽曲配信事業を中心として、37百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億24百万円(前年同四半期比9.3%減)、新規事業の展開に向けた先行投資などの費用の増加に伴い、営業損失19百万円(前年同四半期は営業利益27百万円)となりました。

※ニンテンドーゾーン…特定の店舗や商用施設で、その場所特有のゲーム、音楽、画像、営業情報、販促物などの独自コンテンツをニンテンドー3DSやニンテンドーDSにダウンロードできるサービス。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して59百万円増加し、68億67百万円となりました。資産の部におきましては、主に現金及び預金等が増加した一方で、売掛金及び仕掛品等の減少により流動資産が46百万円増加しております。また、ソフトウェア等が増加した一方で、有形固定資産の償却等による減少により、固定資産が13百万円増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1百万円減少し、17億60百万円となりました。これは主に、前受金及び未払法人税等が増加した一方で、賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して61百万円増加し、51億6百万円となりました。これは主に繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1億49百万円増加し、10億80百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億81百万円(前年同四半期は6億27百万円の資金獲得)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億7百万円、売上債権の減少額1億46百万円、たな卸資産の減少額57百万円などによる収入があった一方で、法人税等の支払額1億46百万円、賞与引当金の減少額56百万円などの支出があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億44百万円(前年同四半期は2億27百万円の資金使用)となりました。主な内訳は、定期預金の増減額90百万円、無形固定資産の取得による支出39百万円、有形固定資産の取得による支出13百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、92百万円(前年同四半期は93百万円の資金使用)となりました。これは主に、配当金の支払額92百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年4月9日に公表いたしました「平成24年8月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載したとおり、平成23年10月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、これによる影響はありません。

## (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(表示方法の変更)

従来、営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりました「投資有価証券評価益」は、当第2四半期連結累計期間では営業外収益の100分の20を超えたため、区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益の「雑収入」に表示しておりました14,366千円は、「投資有価証券評価益」3,513千円、「雑収入」10,852千円として組み替えております。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示しておりました△27,886千円は、「投資有価証券評価損益(△は益)」△3,513千円、「その他」△24,372千円として組み替えております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年9月1日に開始する連結会計年度から平成26年9月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.9%に、平成27年9月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額は4,552千円減少し、法人税等調整額は1,311千円増加しております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,081,644	2,320,872
売掛金	537,224	390,618
有価証券	31,193	30,926
仕掛品	1,045,883	988,738
繰延税金資産	89,089	82,574
その他	33,777	43,883
貸倒引当金	△7,222	—
流動資産合計	3,811,590	3,857,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,171,818	1,176,884
減価償却累計額	△448,128	△471,460
建物及び構築物(純額)	723,690	705,423
工具、器具及び備品	327,584	334,435
減価償却累計額	△283,215	△290,790
工具、器具及び備品(純額)	44,369	43,645
土地	705,945	705,945
その他	81,826	81,826
減価償却累計額	△78,906	△79,695
その他(純額)	2,919	2,130
有形固定資産合計	1,476,925	1,457,145
無形固定資産		
ソフトウェア	52,111	72,609
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	54,246	74,744
投資その他の資産		
投資有価証券	620,475	634,142
繰延税金資産	44,500	31,795
投資不動産	360,699	362,073
減価償却累計額	△36,775	△39,071
投資不動産(純額)	323,924	323,001
その他	500,165	513,093
貸倒引当金	△24,000	△24,000
投資その他の資産合計	1,465,065	1,478,033
固定資産合計	2,996,237	3,009,922
資産合計	6,807,827	6,867,537

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	64,513	64,587
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	151,245	160,032
前受金	746,041	798,521
賞与引当金	194,906	138,397
役員賞与引当金	—	10,000
その他	344,669	322,563
流動負債合計	1,521,376	1,514,102
固定負債		
役員退職慰労引当金	201,980	207,531
その他	38,954	38,954
固定負債合計	240,935	246,486
負債合計	1,762,311	1,760,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,214,427	3,273,870
自己株式	△340,073	△340,083
株主資本合計	5,154,538	5,213,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△80,776	△75,537
為替換算調整勘定	△30,942	△36,494
その他の包括利益累計額合計	△111,719	△112,031
新株予約権	2,697	5,008
純資産合計	5,045,516	5,106,948
負債純資産合計	6,807,827	6,867,537

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	2,416,583	2,772,581
売上原価	1,906,279	2,099,104
売上総利益	510,303	673,477
販売費及び一般管理費	447,169	400,074
営業利益	63,134	273,403
営業外収益		
受取利息	2,711	6,808
受取配当金	5,731	2,626
投資有価証券評価益	3,513	13,084
不動産賃貸料	23,950	23,729
為替差益	—	7,175
雑収入	10,852	7,078
営業外収益合計	46,760	60,503
営業外費用		
支払利息	65	178
持分法による投資損失	12,788	11,104
為替差損	9,023	—
不動産賃貸費用	13,065	14,155
雑損失	2,051	44
営業外費用合計	36,994	25,482
経常利益	72,900	308,424
特別利益		
貸倒引当金戻入額	274	—
持分変動利益	10,845	—
補助金収入	2,566	—
特別利益合計	13,686	—
特別損失		
固定資産除却損	733	1,178
投資有価証券売却損	10,602	—
投資有価証券償還損	1,643	—
関係会社株式評価損	8,515	—
特別損失合計	21,495	1,178
税金等調整前四半期純利益	65,091	307,246
法人税、住民税及び事業税	74,278	149,496
法人税等調整額	△50,493	5,766
法人税等合計	23,784	155,262
少数株主損益調整前四半期純利益	41,306	151,983
四半期純利益	41,306	151,983

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,306	151,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,449	5,239
為替換算調整勘定	△11,794	△3,623
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,122	△1,927
その他の包括利益合計	△1,467	△312
四半期包括利益	39,838	151,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,838	151,670
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	65,091	307,246
減価償却費	60,037	57,903
株式報酬費用	385	2,311
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,839	5,551
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△66	△1,656
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,146	△7,222
賞与引当金の増減額(△は減少)	92,647	△56,509
受取利息及び受取配当金	△8,442	△9,435
支払利息	65	178
為替差損益(△は益)	7,683	△7,257
投資有価証券売却損益(△は益)	10,602	—
投資有価証券評価損益(△は益)	△3,513	△13,084
投資有価証券償還損益(△は益)	1,643	—
持分法による投資損益(△は益)	12,788	11,104
持分変動損益(△は益)	△10,845	—
固定資産除却損	733	1,178
補助金収入	△2,566	—
関係会社株式評価損	8,515	—
売上債権の増減額(△は増加)	262,922	146,605
たな卸資産の増減額(△は増加)	△69,101	57,067
前受金の増減額(△は減少)	122,672	52,479
仕入債務の増減額(△は減少)	21,319	74
その他	△24,372	△32,689
小計	559,505	513,845
利息及び配当金の受取額	8,385	9,437
利息の支払額	△65	△179
補助金の受取額	26,350	—
法人税等の還付額	35,450	5,034
法人税等の支払額	△2,213	△146,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,412	381,877

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△200,000	△90,000
有価証券の取得による支出	△84,230	△0
有形固定資産の取得による支出	△9,515	△13,973
無形固定資産の取得による支出	△38,772	△39,567
投資有価証券の取得による支出	△80,971	—
投資有価証券の売却による収入	71,949	—
投資有価証券の償還による収入	82,820	—
保険積立金の解約による収入	31,278	—
その他	△296	△997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,738	△144,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△95	△10
配当金の支払額	△93,042	△92,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,137	△92,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,663	4,773
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	290,872	149,228
現金及び現金同等物の期首残高	747,066	931,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037,938	1,080,872

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,761,401	517,817	137,365	2,416,583	—	2,416,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,570	9,368	2,322	32,261	△32,261	—
計	1,781,971	527,185	139,688	2,448,844	△32,261	2,416,583
セグメント利益	4,407	31,617	27,109	63,134	—	63,134

(注)1 売上高の調整額△32,261千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,100,112	547,902	124,566	2,772,581	—	2,772,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,466	29,794	1,725	58,986	△58,986	—
計	2,127,578	577,697	126,291	2,831,567	△58,986	2,772,581
セグメント利益又は損失(△)	227,053	65,603	△19,253	273,403	—	273,403

(注)1 売上高の調整額△58,986千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。